

1-6 SVブロック



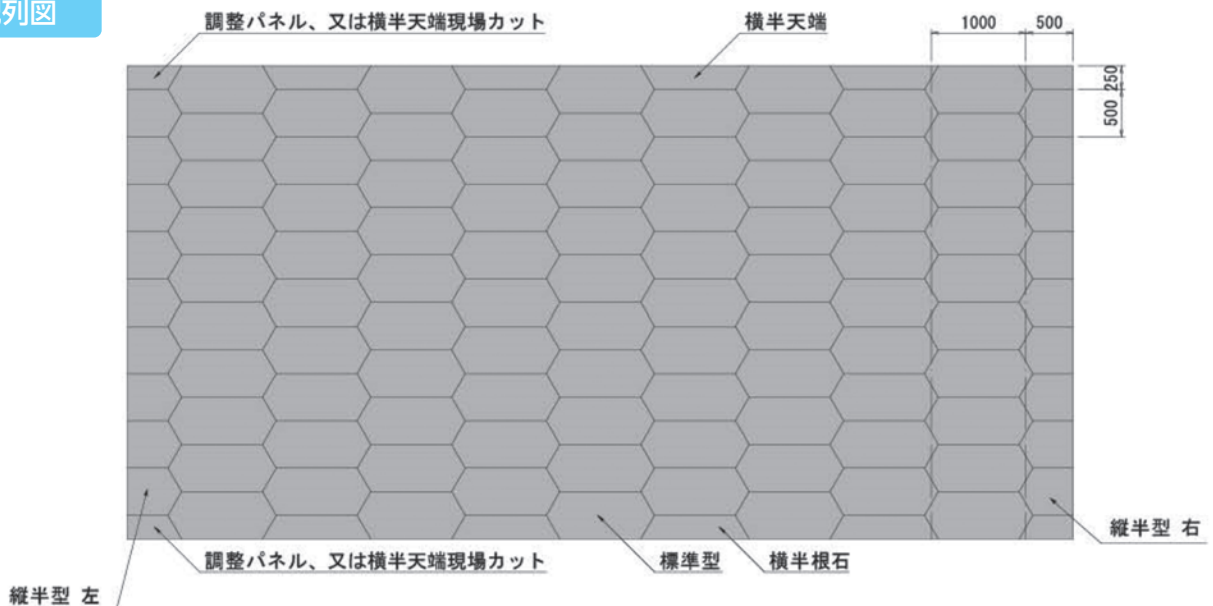
特長

- 積ブロックの控長を 35cm のまま大型化したブロック積擁壁で水平方向の目地が直線とならない谷積等で積み上げる形式です。
- 従来の積(間知)ブロックと同等以上の壁体重量と強度を有しています。
- 本体と同じ模様の「調整パネル」があるので、天端や延長調整の現場打による調整部分の景観性に優れています。
- 水抜きは 6 角形角にノックアウト形式で設置可能です。
- 「美しい山河を守る災害復旧基本方針」護岸ブロック留意点※ 1 の表面模様目地を無くし、構造目地のみとすることで景観と調和するパターンとしました。

※ 1 護岸ブロック留意事項

項目	判定	備考
明度	○	4.5 (6.0以下)
彩度	○	無彩色
テクスチャー	○	53程度(11以上)
パターン	○	素材の大きさ50cm~100cm

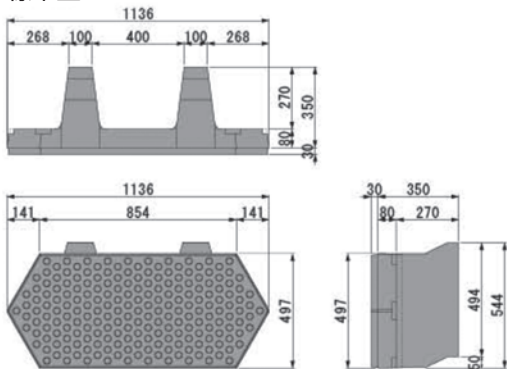
配列図



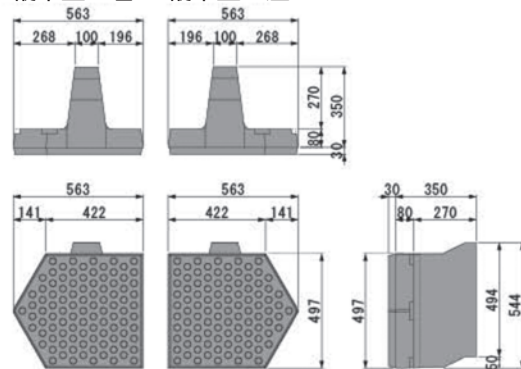
※縦半型は、正面から見て標準型の左側に配置するものを「左」、右側に配置するものを「右」と呼びます。

単体図

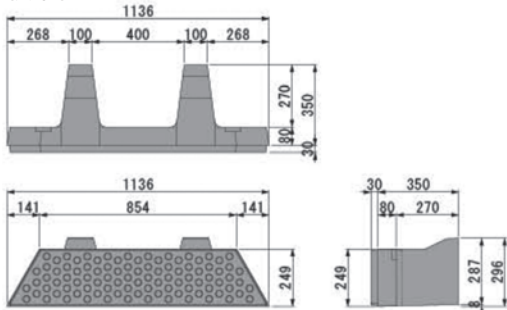
標準型



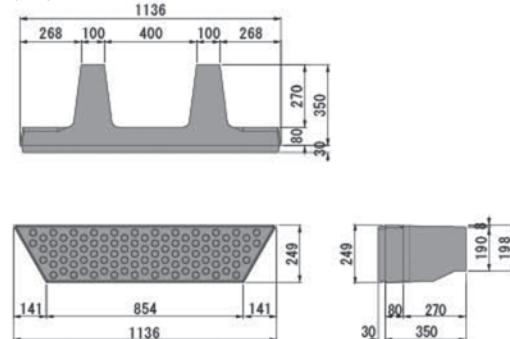
縦半型 右 縦半型 左



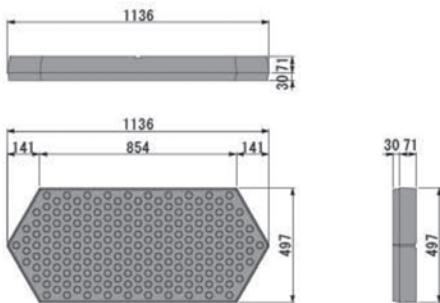
横半根石



横半天端



調整パネル



製品明度

平均明度	4.5
------	-----

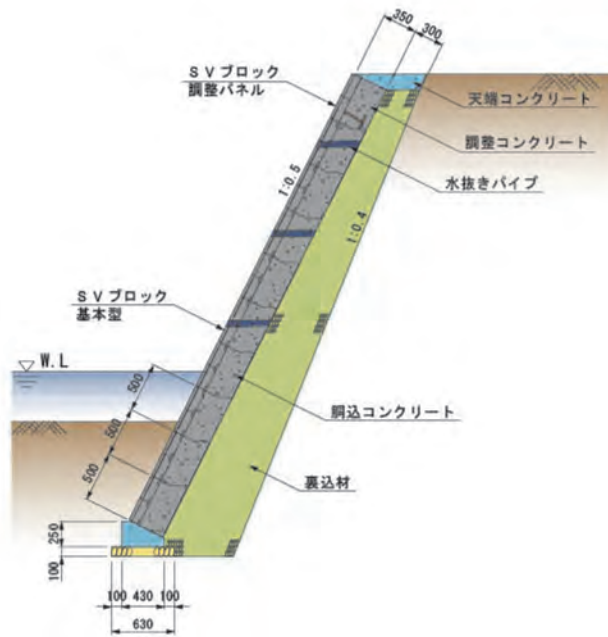
製品テクスチャー

輝度の標準偏差	53
---------	----

呼び名		参考質量 (kg)	寸法 (mm)	胴込コンクリート量 (m ³ /m)	使用個数 (個/m)
標準型	表面ポーラス	193	497×1136/854×350(+30)	0.202	2.0
縦半型	表面ポーラス	97	497×563/442×350(+30)	—	4.0
横半型根石	表面ポーラス	99	249×854/1136×350(+30)	—	4.0
横半型天端	表面ポーラス	92	249×1136/854×350(+30)	—	4.0
調整パネル	表面ポーラス	108	497×1136/854×71(+30)	0.28	2.0

1-6 SVブロック

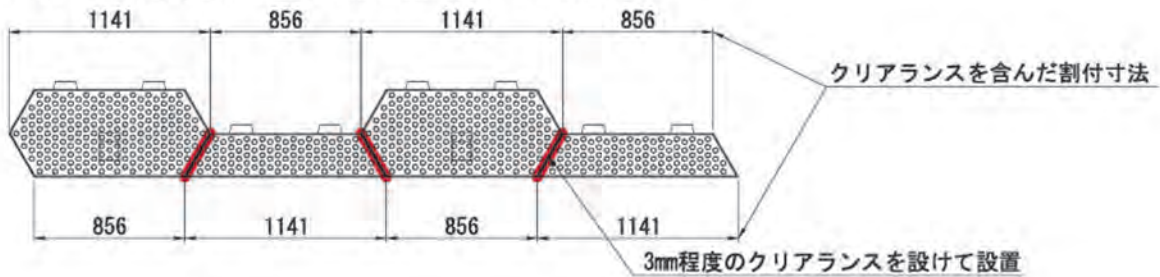
標準断面図



施工要領

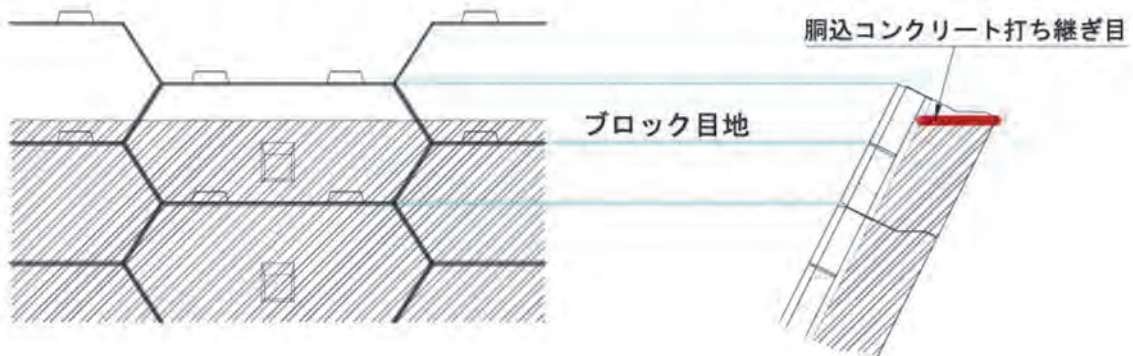
【ブロック据付】

クリアランスを考慮した割付寸法で据え付けてください。



【胴込コンクリート打設】

ブロックの横目地と胴込コンクリートの打ち継ぎ目が揃わないように打設してください。



施工例



河川・道路積

河川張

河川根固め

擁壁

カルバート

道路・一般

水路

その他